

- 前回の募集において募集人員に満たなかった一般職員（約80名）について、5月2日から追加募集を実施。
- 小林設立委員（理事長となるべき者）の指揮のもと採用審査を進め、採用予定者（54名）を以下のとおり選考したところであり、設立委員会の了承を得て、今後、これらの者について採用に向けた手続を進めることとしたい。
- 前回採用内定者（辞退者6名を除く）と今回の分をあわせると、民間採用予定者は、支部長47名、一般職員152名、保健師65名の計264名となる。

1. 採用予定者（54名）

- 企画・調査分析に関する業務に従事した経験を有し、これらに関する民間のノウハウを協会に積極的に導入し、活躍できる者（53名）

【内訳】

- ・多種多様な業種の人材（製造業：7、デパート・スーパー・卸売・小売：11、銀行・保険・金融：20、情報通信7、病院：2、飲食業：2、サービス業（調査分析）：1、その他：3）
- ・年齢構成は40代及び50代が中心（20代：4名、30代：9名、40代：23名、50代：17名）
- ・活躍を期待する分野（企画、調査分析、サービス推進、業務改革等）

- 東京支部長の内定者から辞退の申し出があったため、新たに選任。（1名）

2. 採用審査の経過

- 5月2日に公募を開始（公募数：約80名）
- 応募者数：1,420名
- 面接（7月）

全国健康保険協会の職員(民間募集分)の採用について

- 企業経営、組織ガバナンス、企画、調査分析、IT、企業会計、人事・人材育成、保健事業などの人材について、民間企業等のノウハウを積極的に導入するため、昨年10月から公募を実施。
- 小林設立委員(理事長となるべき者)の指揮のもと採用審査を進め、全都道府県の支部長をはじめ、採用予定者を以下のとおり選考し、4月3日の設立委員会です承を得た。

1. 採用予定者

- 支部長: 47名(全都道府県の支部長を民間から登用)
- 一般職員: 102名
(企画、調査分析、サービス推進、業務改革、人事・人材育成、経理・財務、IT・システム等)
- 保健師: 68名

2. 採用審査の経過

- 10月25日に公募を開始(公募数: 支部長47名、一般職員約180名、保健師約70名)
- 応募者数: 2,605名
- 第一次面接(1月)
- 第二次面接(2~3月)
- 支部長面接(2~3月)

採用予定者の状況

1. 支部長(47名)

- 地域の経済界において企業の経営やマネジメントについて十分な経験を有するとともに、健康保険事業の推進に関して理解と熱意を有し、支部の運営に関してリーダーシップが発揮できる者であって、地域の事業主・被保険者から信任が得られる者。

【内訳】

- ・金融機関、製造業、デパート、小売、ホテル、放送、観光、交通、海運、電力、建設など、各都道府県の地元を代表する有力企業の役員や支店長等の経験者、健康保険組合の運営の経験者等
- ・年齢構成は60代前半が中心(50代:11名、60代36名)

2. 一般職員(102名)

- 企画・調査分析、人事・人材育成、経理・財務、IT・システム等に関する業務に従事した経験を有し、これらに関する民間のノウハウを協会に積極的に導入し、活躍できる者

【内訳】

- ・多種多様な業種の人材
(製造業:17、デパート・スーパー・卸売・小売:15、銀行・保険・金融:19、情報通信13、医療・福祉・保健:28、サービス業(調査分析、人材派遣等):5、運輸:2、その他:3)
- ・年齢構成は30代及び40代が中心(20代:1名、30代:35名、40代:42名、50代:24名)
- ・活躍を期待する分野
(企画、調査分析、サービス推進、業務改革、人事、人材育成、経理・財務、IT・システム等)

3. 保健師(68名)

- 社会保険健康事業財団において、保健指導等の保健事業の企画や進捗管理、研修、計画策定やマネジメントの経験を有し、これらの経験、知識、能力を活かし、そのノウハウを適切に協会に継承するとともに、効果的な保健事業の推進を図ることができる者